

副業収入が
会社にバレない
ちょっとズルい仕組み

西原豊明 著

著作権について

「著作権について」本書は著作権法で保護されている著作物です。本書の取り扱いには以下の点にご注意下さい。本書の著作権は西原豊明(以下、乙と称す)に帰属します。本書の開封を以って下記の事項に同意したものとみなします。

- 本書は極めて秘匿性の高い内容となっております。従って乙に許可なく、本書の一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷・複製・流用・転売・公衆送信等)により、複製・流用およびウェブサイトへ転載する等の行為を固く禁じます。
- 著作権等の違反行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行なった時は関係法規に基づき損害賠償請求を行なうなど、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行なう場合があります。
- 本書に謳われている情報は作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正・情報の最新化並びに見解の変更等を行なう権利を有します。

「免責事項」

本ウェブサイトへの情報掲載にあたって最新の注意を払っておりますが、その内容に誤りや欠陥があった場合にも如何なる保証をするものではありません。

本書をご利用いただいた事により生じた損害につきましても、一切の責任を負いかねます。**※インターネットでの公開や悪質な書き込みを行なった事が確認された場合は厳正に対処させていただきます。**

【推奨環境】

電子書籍に記載されている URL はクリック出来ます。

見れない場合最新 AdobeReader を下記ページよりダウンロードして下さい。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

目次

第1章 副業をいまだに NG にしている会社は時代遅れ	3
第1節 「進んでいる企業」「儲かっている会社」は次々副業 OK にしている	5
第2節 時代遅れの会社に合わせる必要はない	6
第3節 副業は「よいこと」という認識が広がっている	7
第2章 副業は税金からバレる	8
第1節 会社にあなたの収入情報が流れることを回避する方法はある	8
第2節 まずは所得税と住民税の仕組みを知っておこう	9
第3節 副業収入の所得税を確定申告で支払うようにする	10
第4節 市区町村は住民税を確定するためにあなたの収入額を会社に知らせる	11
第5節 自分で副業の住民税を市区町村に支払えば本業の会社にバレない	13
第6節 「確定申告書 B 第二表」の「自分で納付」の「○」をつけるればよい	13
第7節 ここまでのポイント	15
第4章 脱税は相当ヤバイ	16
第5章 自分の不注意でバレる	17
第1節 態度でばれる	17
第2節 働いている現場を会社の人に目撃される	20
第3節 信用して打ち明けた同僚が会社に密告する	21
第6章 バレにくい副業はある	24
第1節 在宅とネットを組み合わせた副業はバレにくい	24
第2節 収入の記録が銀行口座にしか残らないからバレにくい	24
第3節 外で働かないから見つかりにくい	25
第4節 誰とも会わないからバレにくい	25
第7章 見本となる人を見つけよう	26

はじめに

副業をせずに、本業の会社員の給料だけで生活することは、今後ますます困難になるでしょう。なぜなら、日本の企業の優位性が年々落ちているからです。

確かに景気が良くなったり円安になったりすれば、一時的に業績は上がり株価も急騰します。しかしそれだけです。

産業全体を見渡せば、アメリカ企業にまったく追いついていない分野や、中国勢に猛追されている産業が目立ちます。「日本企業に勤めていれば安心」という考え方はもはや幻想です。

そのような悲惨な経済状況が訪れたら、仕事が1本では足りません。

少なくとも2つの仕事を持ち、1つの仕事が不調になったら別の仕事で稼ぐようにしておかないと、すぐに収入が途絶えてしまうでしょう。

「できたら副業したいな」という時代は終わりを迎え、

「副業しないと立ちゆかない」時代が到来しています。

「でも、会社が副業を禁じている」と言う人もいるでしょう。

しかしそれは、言い訳ではないですか。

確かに就業規則で副業を禁止している企業はありますが、副収入をすべて禁じている会社はないはずです。

例えば、

- ・ 相続した不動産の売却
- ・ 株式投資の利益
- ・ 親族のビジネスを短期間手伝ったときの収入

このような副収入については、どの会社も目をつむっているはずですよ。

ということは「絶対に許されない副業」と「まあそれくらいは仕方ないねといわれる副業」の線引きはあいまいなのです。

だからあなたも副業について考え始めましょう。

このテキストのタイトルは「給料の10%ばい稼いでも100%会社にバレないズル賢い仕組み」としましたが、決して「会社にバレなければ何をしてもいい」と言っているわけではありません。

あなたに「副業という名の自己防衛」の準備をしていただきたくて、あえて挑戦的なタイトルにしたのです。

慎重に「こと」を進めることで、そして節度を守って「準備」することで、会社に迷惑をかけることなく副業に着手できます。それを余すことなくあなたにお教えします。

第1章 副業をいまだにNGにしている会社は時代遅れ

副業を禁止している会社は確かにあります。

もしかすると、あなたの会社も副業NGでしょうか。

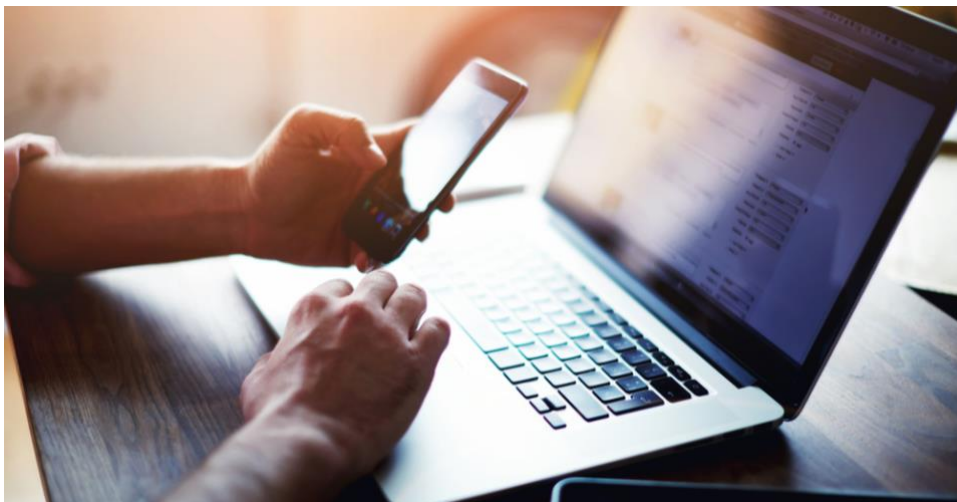
しかし「副業は悪ではない」ということは忘れないでください。

日本人には「職業選択の自由」が認められています。日本のビジネスパーソンは、合法で公序良俗に反していなければ、どのような仕事をどれだけやってもかまわないのです。

では、なぜ副業禁止が世の中に蔓延（まんえん）しているのでしょうか。

実は、確たる理由はありません。会社が単に「副業禁止」と言っているから、副業NGなだけなのです。そして副業NGにしている会社も、「なんとなく社員に副業をしてほしくない」と考えているだけのことが多いのです。

第1節 「進んでいる企業」「儲かっている会社」は次々副業OKにしている



いま、進んでいる企業や儲かっている会社は、次々自社の社員に副業を解禁しています。なぜかという、社員に副業させたほうがメリットが大きいからです。

その理由は次のとおりです。

- ・ 副業している社員は「副業を始めてから本業がおろそかになった」と言われないようにするので、本業のパフォーマンスがあがる
- ・ 副業の時間をつくるために本業の仕事を効率化しようとするので生産性が高まる
- ・ 副業で収入を得ている社員は本業の職場で無駄な残業をしなくなるので、会社は残業代を支払わなくてよくなる
- ・ 副業によって社員の見聞が広がり、それが本業のスキルアップにつながる
- ・ 副業をしている社員は、本業では知り合えない人と知り合うので会社の人脈地図が拡大する
- ・ 副業が本業のビジネスの種になるかもしれない

いかがでしょう、社員に副業をさせると、これだけのメリットを企業は得られるのです。

副業 NG の会社がいかに「遅れているか」がわかると思います。

第 2 節 時代遅れの会社に合わせる必要はない

ではなぜいまだに副業 NG の会社があるのでしょうか。それは「怖い」からです。

「社員が『副業のほうが儲かる』と感じたら辞めてしまうのではないか」

「副業に専念して本業がおろそかになるのではないだろうか」

「会社が社員に身につけさせたスキルが流出するのではないか」

副業 NG の企業の経営者はこのように考えるわけです。経営者がこの程度では、その会社の将来性は疑わしいといわざるを得ないでしょう。

つまり、副業 NG 企業は将来性がないといえます。そのような会社はどうなるかわからないわけですから、そういう会社に勤めている人ほど、副業をしなければなりません。

第3節 副業は「よいこと」という認識が広がっている

古い考えを持っていた企業の経営者も、社員の副業効果について考えるようになっていきます。ということは、副業 NG だったあなたの会社でも、明日突然、副業 OK になるかもしれません。

もしそうなったとき、今のあなたは明日から副業をスタートできますか。

できないでしょう。副業には準備期間が必要だからです。

ということは、副業 NG 企業に勤めている人ほど、早急に副業の準備にとりかからなければならないということです。

第2章 副業は税金からバレる

副業は「税金」がきっかけとなって会社に発覚します。なぜかという、従業員の副業の収入や税金に関する情報が、本業の会社に入る仕組みになっているからです。

しかし、発覚を防ぐ方法があります。

本章はとても重要なので、読み流すのではなく、2度3度と読み返してください。

第1節 会社にあなたの収入情報が流れることを回避する方法はある

税金を集めるのは、国の機関である税務署や都道府県や市区町村なのですが、こうした行政機関は、企業に「従業員の税金を集めるよう」指示しています。

会社は従業員に給料を支払うときに、給料の全額を渡しません。会社は給料から税金分を差し引いた金額を従業員の銀行口座に振り込んでいるのです。

その後会社は、従業員の税金をまとめて税務署や都道府県、市区町村に渡します。

さらに行政機関は、会社にしっかり従業員の税金を集めてほしいので、従業員の収入に関する情報も会社に渡すのです。

つまりあなたの収入の情報と税金の情報は、行政機関を通じて会社に伝わってしまいます。会社は、あなたに給料以外の収入があることを知ったら、「副業しているのではないか」と疑います。会社が調査に乗り出せば、あなたの副業は簡単に発覚してしまうでしょう。

しかし、副業で発生したあなたの収入を、会社に知られないようにすることはできます。
その方法を知るには、所得税と住民税の仕組みを知っておく必要があります。

第2節 まずは所得税と住民税の仕組みを知っておこう

所得税は国に納める税金です。住民税は都道府県と市町村に納める税金です。



まずは所得税から説明します。

副業をしていないとき、つまり1社からしか給料をもらっていないときは、その会社が源泉徴収という方法で従業員から税金を集めます。

源泉徴収では、「これくらい給料を支払えば、大体これくらいの所得税額になるはず」というアバウトな計算をして、毎月、給料からアバウトな所得税額を差し引いているのです。

なぜアバウトな計算をするかというと、正確な所得税の額は、1年分の給料を支払ってからでないと計算できないからです。

税金の額は同じ金額の給料をもらっている人でも、家族構成や生命保険に加入しているかどうか、住宅を購入したかどうかといった諸条件によって変わってきます。

かといって、1年分の給料を支払った後に正確な計算をして、1年分の所得税を一気に従業員から集めるとなると、従業員は一度に大金を支払わなければならない家計が混乱してしまいます。

そのため、毎月アバウトな額の所得税を集め、最終的に1年間の所得税額が決まったら、多く取りすぎteいたら従業員にお金を返し、少なかったら従業員から追加で徴収するようにしているのです。この調整を年末に行うので、これを年末調整と呼びます。

第3節 副業収入の所得税を確定申告で支払うようにする

では2社から給料をもらっていたら、源泉徴収（アバウトな計算による所得税の徴収）はどうなるのでしょうか。

その場合、従業員は次の2つの方法から選択できます。

**A：本業の会社に副業の給料額を知らせて、
本業の会社に2社分まとめて源泉徴収をしてもらう**

B：副業の会社からもらう給料に関する所得税は自分で確定申告して支払う

当然ですが、A を選択してしまったら、本業の会社に副業が発覚してしまいます。

よって、副業していることを本業の会社に隠しておきたい人は B を選択することになります。

確定申告とは、1年に一度、税務署に行って「昨年、給料をもらっていながら源泉徴収してもらわなかったので、その分の所得税を確定申告によって支払います」と申告する制度です。もし確定申告をしなかったら「脱税」という罪を犯すことになります。その重大性については後で解説します。

さてこの解説だけ聞くと、副業で得た収入を確定申告すれば、本業の会社に副業のことは発覚しない、と感じるかもしれません。

しかし問題はここからなのです。

第4節 市区町村は住民税を確定するためにあなたの収入額を会社に知らせる

税務署は財務省という国の省庁の出先機関なので国の税金である所得税しか集めませんが、税務署は確定申告で得たあなたの収入情報を市区町村に渡します。

市区町村はその収入情報を使って、あなたが支払うべき市区町村民税と都道府県税（合わせて住民税といいます）の金額を計算します。市区町村は市区町村民税と都道府県税を一緒に集めます。

市区町村がどのようにして住民税を徴収するかというと、あなたの本業の会社に連絡し、「この人（あなた）はこれだけの収入があるので、この人から〇円の住民税を徴収してください」と依頼するのです。

ここまでの流れはとても重要なので、説明を繰り返します。

副業の収入に課せられる「所得税」は、税務署に確定申告することで支払うことになります。
副業の収入に課せられる「住民税」の額は、税務署が収入情報を市区町村に渡すことで確定
します。市区町村はあなたから住民税を徴収するのではなく、また、あなたの副業先に徴収
を依頼するのではなく、あなたの本業の会社に徴収を依頼するのです。

だから、あなたの副業が、本業の会社に発覚するのです。

これが、副業が本業の会社に発覚するメカニズムです。

だから「副業は税金からバレる」のです。



第5節 自分で副業の住民税を市区町村に支払えば 本業の会社にバレない

ただ、このような事態を引き起こさない方法が1つあります。

それは、副業先から「給与」をもらうのではなく「給与以外の方法」でお金をもらえばいいのです。

労働の対価の支払い方法には「給与」と「給与以外の方法」の2つがあります。給与以外の方法には、「事業収入」や「雑収入」などがあります。

副業先から「給与」で労働の対価をもらってしまうと、本業の会社が住民税をあなたから徴収しなければならないのですが、労働の対価を「給与以外の方法」でもらえば、あなたが自分で住民税を市区町村に支払うことができるのです。

つまり、副業の収入情報が本業の会社に行かなくなるのです。

そのためには、副業先に「自分で確定申告をするので、源泉徴収しないでください。労働の対価は『給与』としてではなく『事業収入』として支払ってください」と依頼しなければなりません。

第6節 「確定申告書B第二表」の「自分で納付」 に「○」をつければよい

副業収入を「給与以外の方法」でもらっていることにするには、副業収入の確定申告をするときに「ある手続き」をする必要があります。

給与・公的年金等に係る所得以外(平成26年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る住民税の徴収方法の選択	<input type="radio"/>	給与から差引き
	<input type="radio"/>	自分で納付

この欄で「自分で納付」のところに「○」をつけるだけです。それで、あなたの副業収入の情報が本業の会社に行かないようになります。

住民税を「給与から差引き」することを「特別徴収」といい、住民税を「自分で納付」することを「普通徴収」といいます。

市区町村によっては、副業収入を「給与」としてもらっても、普通徴収に切り替えてもらうことができます。副業先から『給与』という形で支払うと言われたら、市区町村に行き、「普通徴収で住民税を支払う」と伝える必要があります。

ただたいの副業先は、働いている人が「本業の会社にバレたくない」と思っていることを知っているので、「給与以外の方法」で労働の対価を支払ってくれるはずですよ。

第7節 ここまでのポイント

以上の説明のポイントをまとめます。

- ・ 副業先に「給与ではなく、事業収入として労働の対価を支払ってほしい」と伝える
- ・ 副業先に「自分で確定申告をするので源泉徴収をしないでほしい」と伝える
- ・ 副業収入の所得税は確定申告で支払う
- ・ 確定申告をするときに「確定申告書 B 第二表」の「給与・公的年金等に係る所得以外(平成〇年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得にかかる住民税の徴収方法の選択」の欄は「自分で納付」に「○」をつける

第4章 脱税は相当ヤバい

副業を始める人のなかには「税金を支払うときに副業がバレるリスクがあるなら、確定申告をしなければいいのではないか」という誘惑にかられる人もいるでしょう。

しかも税金を支払わなければ、収入も増えます。

しかしそれは脱税です。そして脱税は「相当ヤバいこと」です。

脱税の最も重い罰は5年の懲役刑です。そして脱税したお金をすべて支払わされるだけでなく、通常の税額より多い金額を徴収されます。

そこまでいなくても、副業は続けられなくなるでしょう。本業の会社も簡単にあなたを解雇するでしょう。



副業収入がまだ少額だと、「こんな小さな儲け、税務署職員が気にするはずがない」と感じるかもしれませんが、税務署は甘くはありません。

「みせしめ」的に小さな脱税をした者を摘発することがあります。

副業は「自分の生活を豊かにして税金を払う行為」なのです。

第5章 自分の不注意でバレる

副業をしていることが本業の会社に発覚するのは、税金ルートだけではありません。むしろ税金ルートで発覚するより先に、別のきっかけで見つかってしまうことのほうが多いでしょう。

副業が発覚するきっかけをつくっているのは実は「あなた自身」です。多くの人は副業が軌道にのると、自らそのことを誰かに知らせてしまうのです。だからあなたが自らを律することができる、「副業発覚」リスクはかなり低くなります。

第1節 態度でばれる

副業を初めてしばらく経って、ようやく収入累計が 5,000 円に達すると、小躍りしたくなるほど嬉しくなるはずですが、本業の会社の仕事に追われながらなんとか時間をやりくりして手に入れた 5,000 円です。しかも自分の才能を売ることで手に入れたお金でもあります。

「家族や友達に褒めてもらいたい」

「自分にご褒美をあげたい」

そう思うのは当然です。しかしそれを実行に移した途端に「副業発覚への道」に一步踏み込んだこととなります。

家族に自慢することや祝杯のビールを買うことで本業の会社に副業が発覚することはありません。しかし「自慢」と「自分へのご褒美」の癖がついてしまうことが恐ろしいのです。

人によっては、副業収入の累計が100万円に達するまでに3カ月かからないこともありま
す。5,000円稼いだけで「自慢」と「自分へのご褒美」をした人が、100万円達成記念で
何かしないわけがありません。

- ・時計を買う
- ・洋服を買う
- ・バッグを買う
- ・自動車を買替える
- ・旅行に行く

こうした行為を実行したら、「副業発覚への道」はかなり奥に進んでいます。

このように言うと、「時計くらい、本業の会社の給料しかなかったときでも買っていた」と
反論されるかもしれません。

もしくは「副業をしていなくても次の車検で自動車を買替えるつもりだった」と言う方
もいるでしょう。

副業が軌道にのったら本業の会社を辞める予定の人であればこのような行動も問題ないの
ですが、「副業はあくまで副業。本業を首になったら困る」という方は、こうした行動を続
けていると次第に麻痺してきて、そこからボロが出ます。

副業で得た収入は、子供の教育費や住宅ローンの頭金など、当初から計画していたことにの
み使うか、貯金に回したほうがいいでしょう。

では、副業で莫大な利益が出たときに、「株で儲けた」または「宝くじが当たった」と嘘について豪華な生活を送る方法はどうでしょうか。それなら、急にロレックスやヴィトンを買っても説明がつかず。

しかしこれが不思議と、その手の嘘は見抜かれてしまうのです。あなたの周囲の人や会社の同僚や上司は、あなたの羽振りが少しよくなるだけで、あなたのことを注意深く観察するようになります。そして、「本当に宝くじが当たったのかどうか」を、あからさまではない形で質問してきます。



しかも彼らは、あなたがいないところで、あなたが金持ちになった原因を分析するでしょう。そうすると、あなたの回答や言動に矛盾点があることが浮き彫りになってきます。

そこから「あいつは株は買っていないな」「宝くじが当たったときはああはならない」と導き出して、「ということは、あとは副業しか残らないな」と結論づけてしまうのです。

お金にまつわる噂は人の好奇心を掻き立てます。

とにかく、副業によって収入が増えた事実について、どのような小さなヒントも周囲の人に与えてはいけません。

第2節 働いている現場を会社の人に目撃される

意外に単純なことで副業が発覚することがあります。それはあなたが副業しているところを、会社の同僚や知人に見つかることです。

例えば本業の会社帰りに飲食店でバイトをする場合、「会社の同僚が絶対に来ない」ことはあり得ません。

なぜならその飲食店の立地場所は、自宅か会社の近くになるはずで、会社の同僚が直接あなたのバイト先に現れなかったとしても、同僚の妻があなたを見かけるかもしれません。同僚の妻はいつかあなたが「自分の夫の同僚」であることを知るときがくるでしょう。

また、カメラマンやスポーツジムのインストラクターといった副業であれば、休日に自宅からも会社からも離れた郊外で仕事ができます。「郊外まで出れば安心」と思うのでしょうか。残念ながらそうはいきません。

北海道の人が沖縄で副業するくらい離れなければ「絶対に見つからない」保証はないでしょう。例えば、東京に住んでいる人が茨城県で副業をしても、いつか必ず発覚するでしょう。

なぜ東京と茨城くらい離れても、なぜ発覚してしまうのでしょうか。

これは心理学的に証明できます。

あなたが勤めている会社の人たちは、実はあなたと「似ている」のです。あなたがどのような経緯でその会社を選んだとしても、「同じ組織」に集まる人たちは、100%偶然にそこに集まるわけではないのです。数%は必然的に同じ組織に入ってくるのです。

例えばあなたが「緑色が好き」「ピーマンが嫌い」「野球観戦が好き」「冬が苦手」などの志向を 20 個持っていたとします。

あなたの会社の同僚で、その 20 個の志向のうち 1 つも持ち合わせていない人はごくわずかなはずです。むしろ共通項を持っている人は意外に多くいるはずですよ。

しかし、あなたが選ばなかった会社には、あなたの志向とまったく合致しない人がたくさんいるのです。また同じ会社のなかにいると、同じ仕事をして同じ目標を持つようになります。そうなると思回路や価値観が似てきます。

志向が似た人間どうしや価値観が似ている人たちは、同じような行動を取ります。

例えばあなたが、副業で郊外のスポーツジムでインストラクターをしたとします。

すると同僚の誰かは、その郊外に行きたがるのです。また、同僚の誰かは、あなたのスポーツジムのようなスポーツジムに通いたがるのです。

外で副業するときは、十分警戒してください。

第 3 節 信用して打ち明けた同僚が会社に密告する



次のようなシーンを想像してみてください。

あなたは副業を初めて 6 カ月で、月の売上高が 20 万円になりました。これはとても素晴らしい成績です。しかしあなたは、このテキストの教えを守って贅沢な買い物はせず、同僚や家族にも副業のことは伝えていません。あなたの副業が発覚している形跡は全くありません。

そのようなときに「会社の同僚 A さんが副業しているようだ」という噂が流れてきました。その噂は本当のようです。あなたは「副業仲間」の A さんと「副業トーク」をしたいのですが、なんとか思いとどまりました。

ところが社内のプロジェクトで、A さんと仕事を組むことになりました。A さんと残業することが多くなり、気心が知れてきました。

ある日 2 人で飲みに行くと、A さんのほうから「実は俺、副業しているんだよね」と告白してきました。しかし A さんは、あなたが副業をしていることは知らない様子です。

ここであなたに質問です。

このシチュエーションで、あなたは「実は私も副業しているんですよね」と言うことを思いとどまることができますか？

正解は「あなたは自分の副業について、A さんに教えないほうがよい」です。あなたは A さんに、A さんの副業について質問すらしないほうがいいでしょう。副業に興味を持っていることすら A さんに知られないほうがいいのです。

「A さんも副業しているのだから、A さんが他人の副業を会社に密告するはずがない」と考えたくなる気持ちはわかります。

しかし、もし会社が、Aさんが副業していることを突き止め、Aさんに「他に副業している社員がいたら教えなさい」と迫ったとします。そのときAさんが、あなたのことを密告しない保証はありません。

しかもあなたは月20万円も副業で売り上げているのです。会社がAさんの処分を軽くして、あなたの処分を重くする可能性もあります。

とにかく会社の人には副業をしていることを漏らしてはいけません。

第6章 バレにくい副業はある

本業の会社に発覚しにくい副業はあります。それは次の2条件をクリアした仕事です。

- ・在宅でできる仕事
- ・ネットを使った仕事

詳しくみていきましょう。

第1節 在宅とネットを組み合わせた副業はバレにくい

営業から受注、業務の遂行、納品、ギャランティの受け取りまで自宅でできる在宅ビジネスは、本業の会社に発覚しにくいでしょう。

そして、それらの行為をすべて自宅で済ますには、ネットを使うしかありません。

そういった意味では「在宅+ネット」は、どちらも狙うべきでしょう。

副業であろうと、ビジネスモデルを構築することは大切です。在宅で完結させるにはどのようなビジネスモデルになるか、といった視点で検討してみてください。

第2節 収入の記録が銀行口座にしか残らないからバレにくい

在宅+ネットの仕事は、収入の記録が自分のパソコンと銀行口座にしか残らないので、本業の会社に発覚しにくいのです。

ただ「収入の記録」には入金通知だけでなく、請求書、領収書、見積書、受領書なども含まれます。こうした「紙」はさすがにパソコン内だけにとどめておけないので、手元に保管する必要があります。

このような「紙」は確定申告に必要なになるので、しっかり整理するのは当然ですが、整理を怠ると副業の発覚につながってしまいます。

保管場所を 1 か所に決め、そこ以外にはしまわないようにしましょう。特に財布に入れた領収書は必ず夜には保管場所に移しておきましょう。

第 3 節 外で働かないから見つかりにくい

在宅副業のメリットは、外に出なくてよいことです。先ほどみたとおり、外で働くことはそれだけで発覚のリスクを高めます。それを回避する有効手段が在宅です。

第 4 節 誰とも会わないからバレにくい

ネット副業は、人と会わずにビジネスを進めることができます。ほとんどのネットビジネスはメールやチャットで済んでしまいます。

「副業発覚」のリスクは、人と会うたびに高まると認識しておきましょう。

第7章 見本となる人を見つけよう

副業が本業の会社に見つかっている人は、計画性がないという特徴があります。思いつきで副業を始めて、ビギナーズラックでたまたまうまく仕事が回り、急に収入が増え、有頂天になってうかつな行動に出てしまって疑われる、というパターンです。

そのような人は本業の会社に発覚しなくても、じきに副業も停滞するでしょう。そして副業に専念していた分、本業がおろそかになっているので、会社の業績も落ちているはずですよ。

副業は必ず誰かに習いましょう。

本業の会社の同僚に習うことはできないので、セミナーに出たり、講演会を聞いたりして、「見本となる人」を見つけましょう。

あなたが副業で心を許せるのは、そのような「見本となる人」だけです。